

取扱い開始しました

秋田県産 萌えみのりデビュー!!



本会では11月12日から「秋田県産萌えみのり(精米・無洗米)」の取り扱いを開始しました。

「萌えみのりとは?」

萌えみのりは、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構が「食味が良く、倒伏に強い稲」を目指し開発された晩生品種です。平成21年に品種登録され、平成24年から本格的な栽培が始まり、年々収穫量を増やしています。主な栽培地は東北で、優良産地を指定し、JAに種子を配布し農家が栽培しています。本会は秋田県産を指定し、学校給食用精米としてお届けしています。

秋田県のお米は「あきたこまち」が有名ですが、その後を継ぐ美味しいお米の誕生を願って育成されたのが萌えみのりです。苗を作らず直接田んぼに種をまく直播(じかまき)をしても芽が一斉に萌えて、秋にはたくさんのお米が実ることから「萌えみのり」の名がつけられました。

はえぬきを親に持つ品種で「大粒」「精米白度が高い」ことが特徴です。
(※晩生品種とは、収穫時期が遅い品種のこと)

【系譜と特長】



栽培地区 主に東北地方(秋田県、宮城県、岩手県、山形県等)

特徴 「大粒で適度な粘り」「精米白度が高い」「炊き増える」

栽培特徴 稲丈が短く、倒伏に強いので品質が安定する良食味品種です。

〈稲丈の比較〉

品 種	稲丈 cm
萌えみのり	65
あきたこまち	79
はえぬき	72

【収穫時期の目安】

銘 柄	9月			10月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
秋田あきたこまち		←→				
青森つがるロマン		←→				
秋田萌えみのり				←→		

*天候や地区により、前後する場合があります。
*収穫後、検査や乾燥調整等を経てから出荷されます。

【産地調査報告】

本会では9月20日に萌えみのりの産地である秋田県横手市を訪問し、秋田ふるさと農業協同組合で今年の作柄概況や今後の生産計画等を確認しました。

秋田県では6月の低温や日照不足により茎分かれが進まなかったため、品質に影響はないが、昨年と比較すると収量は若干落ちることとなりました。

萌えみのりの圃場を視察しました。あたり一面黄金色、穂がたわわに実り頭を垂れています。刈り取り適期まであと少しです。今年10月5日から約2週間に渡り収穫が行なわれました。

収穫されたお米は産地にて放射性物質検査、DNA検査、重金属検査を経て出荷され、本会指定の搗精工場で搗精され、再度本会にて放射性物質検査を実施しています。

窯離れが良く作業性が高くなるのお声もいただいております。適度な粘りと、米のひと粒ひと粒を感じられるお米です。白いご飯はもちろん、べたつきにくいのでカレー、炒飯や丼など多様なメニューに向けています。

新規取扱い銘柄の「萌えみのり」をよろしくお願いたします。



新米の収穫風景

【本会取扱いの米について】

本会では萌えみのりの他、引き続き農薬節減米の「秋田県産あきたこまち」「青森県産つがるロマン」をお届けしています。これらのお米についても、萌えみのりと同様に新米収穫後に産地での各種検査実施後に出荷されています。また学校からサンプリングをして重金属検査、DNA検査、残留農薬検査、細菌検査の実施をしています。

今後も東京都の子ども達に安全・安心で美味しいお米をお届けして参ります。